

## 帯広－JICA 協力隊連携事業第 2 フェーズ第 2 期長期派遣要請概要等

1. 国名：パラグアイ共和国

2. 職種・人数：家畜飼育 4名（うち1名は調整役業務を含む）

3. 今回の募集：家畜飼育 2名

### 4. 配属先概要

1) 受入省庁：社会・経済開発企画庁

2) 配属先：フラム市

サンファン・デル・パラナ市

3) 任地：フラム市

サンファン・デル・パラナ市

4) イタプア県概要：

イタプア県は国内第 3 の都市エンカルナシオン市を県庁所在地とする。小麦、大豆などの穀物、さらには畜肉製品や牛乳加工品の生産地として知られている。30 市町村から構成され、県庁は農業分野を担う農業生産開発局をはじめ、公共事業部、教育文化部、環境部他から成り立つ。同県内には世界各国からの移住が多いが、特にドイツ系と日系の移住が多く、これまで様々なセクターで JICA の技術協力が実施されている。

### 5. 要請概要

1) 要請理由

平成 24 年から平成 30 年 3 月まで、JICA と帯広畜産大学は共同で「イタプア県小規模酪農家強化プロジェクト（FOPROLEI）」を実施してきた。この事業では、2 職種 4 名の長期ボランティアを県庁、コロネル・ボガード市、ヘネラル・アルティーガス市、サンペドロ・デ・パラナ市に派遣し、家畜飼養管理技術、健康・衛生管理技術等の向上を目的としてプロジェクトを進めると共に、半年ごとに短期学生ボランティアを派遣し、プロジェクトの進捗状況をモニタリング調査してきた。本年 3 月に行われた最終評価報告会では、各市において、乳質向上、繁殖効率向上、サイレージ製造の普及など酪農技術の改善が図られ、特に、コロネル・ボガード市では酪農家が生乳を集乳所に集荷し、まとめて乳業会社に販売

するというプロジェクト目標を達成できたことが報告された。これらの成果に加え、同国では酪農分野の発展、特に安定的で質の高い牛乳生産に取り組んでいることから、イタプア県から第2フェーズの要請がなされた。

この要請に基づき、青年海外協力隊事務局、JICA パラグアイ事務所、帯広畜産大学間で協議を行い、同県にて第2フェーズを行うこととし、フラム市、サンファン・デル・パラナ市、カルメン・デル・パラナ市の3市を対象とすることとした。

現在フラム市、サンファン・デル・パラナ市において長期隊員が配属され活動中である。両市の2代目隊員は、初代隊員が作成したロードマップをもとに活動する。またイタプア県庁およびカルメン・デル・パラナ市は、平成31年7月に赴任する予定の隊員と1年間重なりながら活動することから、他の2隊員とも連携しながら、この地域の酪農発展の支援を行う。

## 2) 予定されている活動内容

牛乳の生産性向上や品質改善による経営向上に向けて、カウンターパートとともに下記の業務を行う。

1. プロジェクトのロードマップの作成
2. 搾乳場所や方法など家畜衛生の改善
3. 牧草栽培、サイレージ調製などを全般的な家畜飼料給与改善
4. 酪農組合の組織強化
5. 他市に派遣されたボランティアと連携し、問題や情報の共有
6. 春、夏に派遣される短期ボランティアと連携しての活動

## 3) 配属先スタッフ・同僚等

各市ともにカウンターパートとして1名配置予定  
小規模酪農家組合員（複数名）

## 4) 業務使用言語：スペイン語（訓練言語）・グアラニー語

## 5) 選考指定言語：英語

※学内選考時は、TOEIC等のスコアは不所持でも問題ありませんが、JICA選考時に必要になりますので、JICAボランティア応募時まで各自受験しておくこと。

## 6. 資格条件

- 1) 学歴：本学卒業生、卒業見込者(2020年3月)、本学大学院生

- 2) 免許：小型自動二輪免許取得が必要。  
※自己負担での取得になります。

## 7. 地域概況

- 1) 気候：温暖湿潤気候
- 2) 気温：0～40℃
- 3) 電気：安定
- 4) 電話：通話・インターネット可
- 5) 水道：安定

## 8. その他

JICA 合否決定後、大学が定期的に行うスペイン語研修や搾乳実習などに参加すること。

以上